

## II. 学校経営計画

### 1. 校訓 至誠・協同・勇氣

### 2. 学校教育目標

自らを律する力を養い、感じる心、考える力を育てる

### 3. 学校づくりの基本理念 2024” MINMA for One” 「笑顔いっぱい、元気いっぱい、あいさついっぱいの学校」

○当たり前前を当たり前前ががんばる学校『凡事徹底』

(笑顔・元気・挨拶・身だしなみ・言葉遣い・思いやりの心を大切に)

- ・子ども達を通して楽しく、笑顔いっぱいで過ごすことができる学校
- ・明るく元気な職員が指導する元気いっぱいの学校
- ・保護者、地域と連携する、あいさついっぱいの学校

### 4. めざす姿

めざす児童像・学校像・教師像 「子どもも教職員も、共に成長する学校」

めざす児童像

- のびゆく  
三馬っ子
- 学び合う子…友達の話聞き、よく考え、自分の考えを表出する子(知)
  - 助け合う子…思いやる心、感謝の心を持ち、人と接する子(徳)
  - 鍛え合う子…健康な心と体を持ち、最後までやり抜くたくましい子(体)

めざす学校像

安心・安全・安定した学校

- ①子ども達と教職員の心が通い合い、笑顔があふれる学校
- ②子ども達が安心して学び、安定した学力・体力を身につけることのできる学校
- ③保護者や地域と連携し、信頼される学校

めざす教師像

子ども達や保護者・地域から信頼される教師

- ①明るい笑顔と思いやりの心を忘れない教師
- ②子どものよさを生かし、具体的で確かな指導ができるよう、研鑽を積む教師
- ③生徒指導の機能を意識した学級づくりと授業づくりができる教師

## 5. 経営方針

次の点に重点を置いて、学校経営を進める。

#### (1) 指導力の向上をめざす研修の充実

- ①学級を公開し、学びの土台や指導法を相互に参観し、研鑽を積む。
- ②児童理解の研修を計画的に設定し、子どもを理解する力を高める。
- ③自己の課題を明確にし、校内外の研修機会を活用し、指導力を高める。
- ④ICT版金沢型学習スタイルに基づく学習の研究実践をもとに、指導の工夫・改善を進める。
- ⑤GIGA推進委員会を設置(担当者と各学年情報担当で構成)し、端末の整備や活用を図る。

#### (2) 組織的・機能的・機動的な学校運営の確かな推進

- ①主幹・各主任を生かし、主任の役割を明確にした組織的な学校運営を進める。
- ②職員会議・主任会議など、目的に合う会議を設定し、効率的な学校運営を進める。
- ③教職員が一枚岩となって共通理解、共通実践する。支え合い、学び合う集団であり続ける。
- ④「報告・連絡・相談」を確実にし、機動的な学校運営を進める。
- ⑤いじめ対策チーム、校内教育支援センターを要として、学校全体で校内体制を整えて取り組む。

#### (3) 保護者・地域との信頼関係の確立

- ①開かれた学校に努め、学校から確かな情報を伝える工夫をする。
- ②コミュニティスクール・地域学校協働活動を活用しながら地域と連携した学校経営に努める。

## 6. 中期的目標と方策

目標	方 策	評価と指標について
学び合う子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上の取組と指導法の工夫 少人数指導の充実 家庭学習の充実</li> <li>意欲と達成感の持てる授業づくり</li> <li>I C T版金沢型学習スタイルに基づく授業実践</li> <li>相互授業参観</li> <li>ノート指導の充実</li> <li>学年会での教材研究の充実</li> <li>読書活動、親子読書の推進 読み聞かせの実施、図書ボランティアとの連携</li> <li>それぞれのニーズに応じた指導の実践 特別支援コーディネーターの活用</li> <li>段階的な指導の実践（学びの土台の定着）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導記録の充実と活用 家庭学習 結果の見やすい取り組み</li> <li>週案の充実。課題とまとめの整合性のチェックによる評価</li> <li>参観週間の取り組み度合い</li> <li>ノートの鉄人達成率</li> <li>週一回の学年会。記録の提出</li> <li>読書目標の設定と成果認定</li> <li>定期的サポート委員会の開催と支援の臨機応変な見直し</li> <li>チェックシートの活用と点検</li> </ul>
助け合う子	<ul style="list-style-type: none"> <li>心に響く道徳教育の実践</li> <li>児童理解の会の充実 いじめアンケートの実施と面談週間の活用</li> <li>いじめ防止基本方針の実施と検証</li> <li>縦割り活動の推進、認め合う場作り 学年間での協同活動、地域人材との交流活動</li> <li>相談担当、スクールカウンセラーとの連携、関係機関との連携</li> <li>主体的な児童会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任会後にいじめ対策チームの会を常設する。常時いじめに対する意識を維持する。</li> <li>認める場、褒める場を意図的に設定しているか検証する。</li> <li>サポート会議を通して生徒指導の方針と照らし合わせ検証。</li> <li>スポチャレの参加率</li> </ul>
鍛え合う子	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動量を確保した体育、体力向上の取組の継続 食育の推進</li> <li>三馬っ子のやくそくの定着</li> <li>「<u>おもいやり</u> <u>ことばのみだし</u> <u>みあいさつ</u> <u>じかん</u>」の取組</li> <li>避難訓練の徹底</li> <li>防災教育の充実</li> <li>地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会での取り組みの振り返り。認める場・褒める場</li> <li>約束事の達成率100%を目指す。</li> </ul>
指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート指導の学習会</li> <li>校内研修の充実</li> <li>授業改善「主体的・対話的で深い学び」</li> <li>みんな塾の開催</li> <li>週案での質と量の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの鉄人達成率</li> <li>考えたくなる授業づくり 考えたくなる発問とまとめの整合性を週案で確認。学年会の機能化</li> </ul>
安心・安全・安定した学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち合わせの徹底と職員保護者児童への注意喚起</li> <li>児童職員の人権感覚の高揚</li> <li>ホームページ、学校便りの定期的な発進</li> <li>学校運営協議会の整備と活用</li> <li>学年会・分科会・三委員会の確保 コミュニケーションの場作り 共に作り上げる教育活動</li> <li>主任会、学年会の明確な位置づけ</li> <li>チーム支援の実施</li> <li>職員の心の安定と健康保持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習の充実と職員終礼の充実 児童の心の安定を目指す。</li> <li>児童理解の会と特別支援の会の定例化</li> <li>週一回の学年会の確保 学年会の内容を主幹に報告 学年会の質向上を目指す 主任会と学年会の連動</li> <li>チーム学年の機能化</li> <li>前年度より平均超過勤務時間の短縮をめざす</li> </ul>

## 7. 今年度の重点的な取り組みと方策

重点的な取り組み	方策
(1) 温かい人間関係の醸成	①生徒指導の機能を生かし、一人一人が自己肯定感や自己有用感を感じることのできる（認める場設定）

	学年・学校経営 ②道徳教育や特別活動の中での、心の教育の推進 ③一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実
(2) 基本的な学習・生活習慣の確立	①学習活動や集団生活のマナーとルールの徹底 ②心が通う気持ちの良い挨拶ができる児童の育成 ③読書活動・言語活動の充実と推進
(3) 学ぶ意欲を培う学習指導の展開	①基礎的な学力の確かな定着をめざす指導の工夫 ②思考力・判断力・表現力を育てる学び合う学習活動の工夫 ③主体的・対話的で深い学びを基本とした、意欲と達成感のある授業づくり
(4) 確かな指導力を持つ教師への努力	①自己の課題を見極め、計画的な自己研修の推進 ②互いに研鑽することにより、高め合う教師（学年会の充実）
(5) 新たな課題への取り組み	①効率的な職務の遂行を目指して、職務の整理と職員の働き方に関する意識改革に取り組む ②コミュニティースクールの効果的な活用を目指して、その運用についてさらなる研究を進める ③小中一貫(グランドデザイン)及び近隣小学校・幼稚園・こども園・保育所との連携推進 ④心を育む食育教育の継続推進 ⑤本校いじめ防止基本方針の実施と検証 ・いじめの早期発見（見逃し0）、早期対応 ・未然防止のための方策の実施 ・いじめ対策チームの常時開設と機能化 ⑥校内教育支援センターの設置と効果的な運用 ⑦体力向上の取組の継続と健康教育の推進 ⑧ICT研修会の実施（効果的な活用など）

## 8. 具体的な方策の工程表

	主な年間予定	経営内容
一学期	4月 新任式、入学式、一学期始業式 授業参観、学年・学級懇談会 スクールフォーラム 毎月3日を「みんな 絆あいさつの日」 毎週1回の学年会、教材研究日 県学力調査・全国学力調査 遠足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初 学校経営方針・計画の説明</li> <li>・指導体制（主任任命、分掌担当者指名）の確立</li> <li>・現職教育計画（研究主題）の共通理解</li> <li>・人事評価制度の説明（面談シート作成、面談、業績評価）</li> <li>・みんなつ子見守り隊への挨拶（出発式）</li> <li>・児童理解の会で特別支援体制の確認・児童個人写真作製</li> <li>・学校運営協議会準備</li> <li>・学級・学年経営案、個人研究計画の設定</li> <li>・学校研究についての共通理解と児童の学力実態把握</li> <li>・学びの土台の共通理解とノート指導の実践推進</li> <li>・朝自習時間の内容の充実と家庭学習の内容点検</li> </ul>
	5月 毎月初め：全校朝礼・職員会議回数減 月1回の主任会議・就学指導委員会・校内いじめ対策委員会 全体研究授業① 学校運営協議会① 運動会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各主任からの学校運営上の課題分析と改善方策の工夫</li> <li>・学校自己評価（重点目標のかかる成果目標の策定）</li> <li>・人事評価制度の実施（当初面談）</li> <li>・みんな塾、ICT研修会の開催</li> <li>・フォーラムと学校運営協議会での経営計画説明</li> </ul>
	6月 全市一斉学校公開週間 授業参観 引き渡し訓練 家庭学習強化週間 プール開き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援体制の状況報告と支援体制の確認</li> <li>・ノートの鉄人第1回（基礎）全学年全クラス実施</li> <li>・県学力調査・全国学力調査の結果分析</li> </ul>

二 学 期	7月	6年宿泊体験(羽咋) 全体研究授業② 児童懇談週間個人懇談・通知表渡し 一学期終業式 夏季休業 金沢「絆」の日 サマースクール、職員作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校自己評価と結果分析・報告(各アンケート等分析)</li> <li>成績一覧表の点検</li> <li>学校評価分析に対する各主任からの対策の検討</li> <li>学校経営方針の修正・追加(9月以降の見直し)</li> </ul>	
	8月	水泳記録会 備品点検 全体研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラムの加除・修正</li> <li>学校研究の進捗状況と考察</li> </ul>	
	9月	二学期始業式、夏休み作品展、 5年宿泊体験(キゴ山) 遠足(1~4年生) 連合体育大会6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事評価(中間面談)実施</li> <li>見守り隊への挨拶・巡回</li> <li>学びの土台再点検</li> <li>授業の構成、板書の見回り</li> <li>学年に応じたノート指導の徹底(向上)</li> </ul>	
	10月	就学時健診 引き渡し訓練 連合音楽会 学校運営協議会②	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程実施状況の点検</li> <li>諸帳簿点検、指導案検討</li> <li>人事評価制度で授業参観・指導助言</li> <li>学校運営協議会、中間報告と後半に向けての協議</li> </ul>	
	11月	いしかわ教育ウィーク・学校公開週間 全体研究授業③ 150周年記念式典	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度特別支援教室設置の有無調べ</li> <li>学校環境点検・整備</li> <li>タブレットの鉄人第2回(向上)全学年全クラス実施</li> </ul>	
	12月	英語学習状況調査6年 個人懇談・通知表渡し 二学期終業式 冬季休業	<ul style="list-style-type: none"> <li>各主任からの進捗状況の報告</li> <li>学校自己評価②(各アンケート等分析)</li> <li>成績一覧表の点検</li> <li>学校経営方針の修正(1月以降分)・カリキュラムの検討</li> </ul>	
	三 学 期	1月	三学期始業式 家庭学習強化週間 縄跳びの取組 授業参観・懇談 スクールフォーラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校研究の成果と課題の話し合い</li> <li>研究主題等の検討</li> <li>人事評価制度で授業参観・指導助言</li> </ul>
		2月	6年生を送る会 学校運営協議会③	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会にて学校運営結果状況、評価結果説明 本年度の成果と課題を協議(次年度に向けて)</li> <li>人事評価(最終面談・面談シートの評価・業績評価)</li> <li>学校経営方針の修正・追加→次年度の方針</li> <li>学校研究来年度の方針</li> <li>地域学校協働活動事業来年度への課題整理</li> <li>各主任、担当者からの進捗状況の報告(新年度準備)</li> <li>学校運営協議会</li> </ul>
		3月	卒業式、学年末修了式、離任式 通知表渡し(児童渡し) 学年末休業	<ul style="list-style-type: none"> <li>R4年度三馬プラン完成、経営状況、学校評価報告</li> <li>成績一覧表の点検</li> <li>新年度準備委員会・諸帳簿点検、沿革誌作成</li> </ul>

## 9. 教職員の業務適正化に向けた具体的な取り組み

### (1) 勤務時間と業務内容の適正化を図る

- 個々の勤務時間を正確に把握し、時間外勤務が月60時間を超えないように努め、月60時間を超える職員がなくなることを目指す。「時間外勤務1日6分削減」を目指す。
- 職員の業務改善に向けて、業務内容の精選と分担をより明確にし共通理解を図る。
- 校内研修を通して、ワークライフバランスについての個々の意識改革を図る。
- 上記取り組みについて、学校評価で評価・分析・点検を行う。

### (2) 勤務時間を意識したより具体的な取り組みを行う

- 月に2回以上の定時退校日を設定する。月の行事予定とホワイトボード等で明示する。
- 最終退校目標時刻を19:30に設定する。管理職からの声かけ(19時)で確認する。

### (3) 保護者・地域等へ周知する

- 休日や平日夜間(18:00以降)の留守番電話等の対応について、保護者や地域に周知する。
- コミュニティースクール等を活用し、学校や金沢市の取り組みについて周知を図り理解を求める。